

祭神 大己貴命
相殿 少彥名命

官社 清和天皇貞觀二年六月九日戊子能登國大穴持神像石
神列於官社

祭日 四月一日九月三十日

社格 村社(明細帳縣社とあり)(縣社)

所在 一宮寺家村(羽咋郡一ノ宮村大字一宮寺家)

今按氣多神社明應八年神社目錄に三拾荷 前大か田と號寄進と載たるは是社地の邊なる田畑なりと云ひ又往古以來氣多神社の攝社にて氣多の舊神官より官司に補せらるゝ例なりと云ひ今尙神像石は社前の道邊に存在し方五尺許にて偶不潔のことあれば禍を得る者往々ありて威靈を現し玉ひ又此社を俗にオナヂの宮と稱するも甚由あれば此地なること疑なし舊來同郡町村と梨谷小山の兩社を像石神社として互に爭論ありしかど寛延二年社號帳に町村は住吉大明神小山村は三代大明神と記したるを寛曆十年の帳には町村を大穴持社天明後は同所を八千餘社とし小山村を大穴持身代社と記せるなど甚だ疑はしければとらす

○能登郡十七座 並小

能登比咩神社

祭神 能登比咩神 霧妙天神

今按一説に祭神三穗津姫命とあれど如何あらん社傳に氣

藤原比古神社

祭神

祭日

社格

所在

今按鹿島郡三階村鎌足宮を當社なりと貞享二年由來書にのせられども社邊の谷を鎌河谷と云を里俗鎌足と云によりて藤原比古神社に附會せるものなるべければ信がたし

菅忍比咩神社

祭神 菅忍比咩神 稱日面大明神

祭日 三月八月十三日六月十九日

社格 村社

所在 笠師村 ○屬鹿島郡(鹿島郡笠師保村大字笠師)

今按當村上古笠師氏の居地なるが故に笠師村といふ今管々谷管ヶ坂など呼べる地名あり是皆往古以來の遺名にて此地に菅忍比咩神社あるもいと由ありて聞ゆ

加夫刀比古神社

祭神 加夫刀比古神

祭日 三月八月八日

社格 村社

所在 甲村甲山 ○屬鳳至郡(鳳至郡兜村大字甲)

天日陰比咩神社

祭神

祭日

社格

所在

今按鹿島郡二宮村二宮社同郡西馬場村入合の地にある兩乞社を當社と云へど何れも證なし但二宮は一宮に對したる式社ならんか二宮村は石動山の麓にありて二宮道古來の本道とす舊説に伊須流岐比古神社は古當國の二宮にて二宮村に祀りしより邑名ともなりしなれど中古山上の神祠隆盛なるに隨て二宮の方衰頽し社も湮滅すと云り此説によりて考ふるに天日陰比咩神は伊須流支比古神に所縁ありて同所に祭られ玉ひしが後に山上と山下とに別ち祭られたるにはあらずるかされど確證なければ決めがたし

鳥屋比古神社

祭神 鳥屋比古神 稱六所明神

能登國 能登郡

荒石比古神社

祭神 荒石比古神

祭日 四月九月四日

社格 村社

所在 川尻村 ○屬鹿島郡(鹿島郡端村大字川尻)

今按豐田町村の日吉社を當社なりと天明二年爭論ありしかども貞享二年由來書に豐田村山王社とのせたるのみにて證なければと難し又川尻村は藥師社と稱すれども貞享二年の由來書に荒石比古神社と記し隨身駒犬等の千年をも經たる古器傳はれるなど證とするに足れりと云へば今之に従へり

久氏比古神社

祭神 久延比古命